

映像伝送システム (Live119)

映像伝送システム (Live119) は、現場と消防をリアルタイム映像でつなぐシステムです。

埼玉東部消防組合管内で119番通報した際、スマートフォンのカメラを使い、現場の映像を指令センターに送ることができます。言葉では伝えるのが難しい場面でも、映像を通して状況を共有しながら、指令員から応急手当の方法など、必要なサポートを受けることができます。



埼玉東部消防組合
高機能消防指令センター



**通常の119番通報でも、
電話越しにサポートがあります**

119番通報では、通信指令員が状況を確認しながら、必要に応じて胸骨圧迫などの救命処置を電話で案内します。何をすればいいかわからなくても、指令員の案内に従って行動することができます。

操作手順



撮影中も音声聞こえるよう、電話の音声をスピーカーにする



消防から受信したショートメッセージを開いてURLへアクセスし、ブラウザでLive119を起動



音量を上げて、スマートフォンを横向きにし、ビデオカメラボタンをタップして撮影を開始



映像が消防指令センターに転送される

※Live119は、株式会社ドーンの商標です。

AEDの場所を知っておくこと、実際に救命処置を体験しておくことも、いざという時の安心につながります。

普通救命講習会

日 11月28日(出) 9時～12時/受付8時45分

場 埼玉東部消防局 警務分署 講堂

内 心肺蘇生法、AED使用方法など

※講習会終了後に普通救命講習修了証を交付します。

講 埼玉東部消防組合 消防職員

対 中学生以上の市内在住・在勤・在学者

定 20人 (申込順)

持 筆記用具、動きやすい服装 (スカート不可)

申 10月19日(月)～30日(金)に、電子申請・直接・

FAX・メール・電話で、健康医

療課地域医療係 (☎22-3319 /

ekenkoiryo@city.kuki.lg.jp /

内線3426)へ



AEDの設置場所

市内のさまざまな場所で、AEDを使用できる環境が広がっています。



小・中学校、義務
教育学校の屋外



公共施設



運動施設等の屋外



民間事業所等



商業施設

AED設置場所
(公共施設)
一覧はこちら



AEDを設置している事業所等を「AED使用協力事業所」として認定・公表し、緊急時に無料で貸し出しています。民間事業所等のご協力により、多くのAEDが使用可能となりました。

AED使用協力事業所認定事業のご案内▶



**「自分にもできる」と
思えることが
いざというとき、
一歩を踏み出す力になります。**



あなたの一歩が、いのちをつなぐ



目の前で人が倒れていたら、あなたはどうしますか…？

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるかわかりません。もしものとき、何をすればいいかわからず、戸惑ってしまうのは、誰にでもあることです。大切なのは、まず一歩を踏み出すこと。その場にいるあなたの行動が、命をつなぐ大きな力になります。今回の巻頭記事では、救命処置の基本的な流れや映像伝送システム、AEDの設置場所について紹介します。



救命処置の流れ・AEDの使い方

① 反応の確認

軽く肩をたたきながら、大声で呼びかける



反応がない場合

② 119番通報・AED手配

大声で周りの人に助けを求める
(救急車を呼んでもらう・AEDを持ってきてもらう)



③ 心臓マッサージ開始 (胸骨圧迫)

胸骨圧迫30回を繰り返す
胸の真ん中を真上から圧迫する
※できる人は人工呼吸2回も追加

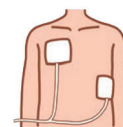
強く！(約5cm)
早く！(100～200回/分)
絶え間なく！



④ AEDを使用

音声に従って操作すれば、誰でも簡単にAEDを使用できます

電源を入れ、イラストを参考に → AEDが電気ショックの要否を解析
電極パッドを素肌に貼る → 必要であれば電気ショックを行う



女性への配慮
・必ずしも全て脱がす必要はありません。
・パッド貼付後に、上からタオルや衣類をかけてもOKです。



普段どおりの呼吸が戻る、
または救急隊に引き継ぐまで
心肺蘇生とAEDを繰り返す

救急車が到着するまで
全国平均で約10分



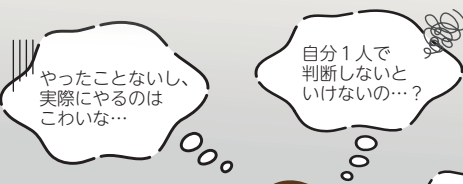
救命処置を行うと…

何もしない場合と比べて、生存率は**約1.9倍**になります！



**安心して
ください！**

**119番の先にも
サポートが
あります！**



救命処置の流れが分かってても
自分にできるか不安…

